



2026年6月15日

各 位

会 社 名 abc 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.abc.co.jp/form/corp/>

合弁会社 Crawford Production Japan における メディア・ライブイベント事業 (CPJ STUDIOS) の開始に関するお知らせ

～格闘技エンタテインメント事業「Combat Entertainment 3.0」の第1フェーズ始動に向けて～

当社は、このたび、合弁会社 Crawford Production Japan (以下「CPJ」という。)における新規事業「メディア・ライブイベント事業 (呼称：CPJ STUDIOS)」 (以下「本事業」という。)の開始を本日付で決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本事業は、当社が推進する格闘技エンタテインメント事業「Combat Entertainment 3.0」における具体的実装の第1フェーズに位置付けられるものであり、日本の格闘技・ファイター・関連 IP の価値を、メディア、ライブイベント、スポンサー、ライセンス等を通じてグローバル市場へ接続することを目的としております。

なお、CPJ STUDIOS においては、既に番組第1弾の収録を完了しており、今後、英語×日本語によるグローバル番組として順次展開してまいります。

記

1. 本事業開始の理由と背景

日本には、世界に通用する実力と個性を備えたファイターや格闘技文化が存在する一方、その価値を世界のファン、市場、スポンサー、マネタイズ機会へ十分につなぐ仕組みは、なお限定的であると当社は認識しております。

当社は、2026年6月5日付のPR情報「[合弁会社「Crawford Production Japan \(仮称\)」主導による格闘技新事業の価値モデル具体化に関するお知らせ](#)」にて公表しましたとおり、ボクシング世界ランキング Pound for Pound (PFP) 1位として高く評価された元プロボクサーであるテレンス・クロフォード氏と設立準備中の合弁会社「Crawford Production Japan (仮称)」が主導する格闘技エンタテインメント事業「Combat Entertainment 3.0」を発表しました。

当該記者会見においては、格闘技エンタテインメント事業の新たな広報戦略アンバサダーとして、世界中にファンと SNS 発信力 (SNS フォロワー数 1,300 万人超) を持つ、現 WBC 世界ウェルター級チャンピオン、プロボクサーのガルシア氏の就任についても発表しております。

今回開始する「CPJ STUDIOS」は、その第1フェーズとして、ファイターや競技の魅力をメディアコンテンツ化し、ファン基盤の拡大とスポンサー価値の創出を図るとともに、将来的な IP 展開、ライブイベント展開、ライセンス展開等につなげる基盤事業として位置付けるものです。

当社は、本事業を通じて、日本発の格闘技関連価値を世界へ届ける“橋”となり、中長期的な収益機会の拡大を目指してまいります。

2. 本事業の内容

本事業は、以下の4領域を中核とするプロデュース型メディア・ライブイベント事業です。

(1) 番組制作・配信

英語×日本語によるグローバル向け番組の制作・配信（動画プラットフォームおよびSNSでの多面展開）。なお、第1弾エピソードは収録を完了しており、順次公開を予定しています。

(2) ファイターIPプロデュース

日本人選手の海外露出・ブランディング支援をしていきます。

(3) ライブイベント&体験

公開収録・ファンイベント・スペシャルマッチ（パートナー団体との連携を前提）の企画・運営を行い、常設拠点として、当社子会社が運営するエンターテインメント施設「CAMELOT（キャメロット）」（東京都渋谷区）を活用します。

(4) スポンサーシップ

番組・選手・イベントへの協賛を行います。

収益は、スポンサー収入、プロデュース収入、チケット・体験、配信広告、配信権・ライセンスの5つのラインで構成します。

なお、本事業の体制としては、下記の座組を予定しており、

- 事業主体：CPJ/テレンス・クロフォード氏（JVパートナー）
- 広告戦略アンバサダー：ライアン・ガルシア氏（CPJアンバサダーとして番組第1弾に出演）
RIZIN 総合格闘家 平本 蓮氏（国内アンバサダー）
- 協業パートナー：CAMELOT（当社子会社・常設拠点）、制作パートナー各社

当社は、ファイター価値の「メディア化→IP化→デジタル資産化」という3段階の価値創出を見据え、本事業をその起点として位置付けております。

また、本事業は、選手の露出拡大とIP価値向上を通じて業界全体に貢献することを方針とし、スペシャルマッチ等のライブイベントはパートナーとして、既存の格闘技団体との連携を前提に企画・運営も共創モデルとして実施していく予定です。

3. 今後の見通し

当社は、ファイター価値の3段階構想（メディア化→IP化→デジタル資産化）の第1段として本事業を位置付けており、第2段階以降の展開および拡張領域については、準備が整い次第、順次正式に発表してまいります。

本事業の中期目標（レンジ）は、本日公表の別紙「【CPJ STUDIOS】メディア&ライブイベント事業計画 説明資料」をご参照ください。

なお、同資料に記載の中期目標は一定の前提に基づく目標値であり、業績予想として開示するものではありません。

本事業が当社の2026年8月期の連結業績に与える影響につきましては軽微であります。2027年8月期以降については、本事業の進捗によって実施していく具体的な収益化も決めていく過程でもあるため、未定であります。

もっとも、本件は当社の中長期的な成長戦略における新規事業領域の一つとして位置付けており、今後、事業進捗、業績影響等、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上